

## (21) 明石工業高等専門学校学寮規程

### (目的)

- 第 1 条** この規程は、明石工業高等専門学校（以下「本校」という。）学則第 61 条第 2 項の規定に基づき、学寮の運営その他必要な事項を定める。
- 2 学寮は、寮生の勉学に適する環境において、規律ある共同生活を体験させ、これを通じて人間形成に資することを目的とする。
- 3 本校の学寮は、潮寮と称する。

### (学寮の管理運営の責任者等)

- 第 2 条** 学寮の管理運営責任者は、寮務主事とする。
- 2 寮務主事は、校長の命を受けて学寮の管理運営に当たる。

**第 3 条** 削 除

**第 4 条** 削 除

### (学寮委員会)

- 第 5 条** 学寮の管理運営に関する具体的な事項を審議し、その円滑な運営を図るため、学寮委員会を置く。
- 2 学寮委員会については、別に定める。

### (入寮願)

- 第 6 条** 入寮を希望する学生は、入寮願に所定の書類を添え、寮務主事を經由して校長に願い出るものとする。

### (入寮許可)

- 第 7 条** 入寮の許可は、寮務主事の選考に基づいて、校長が行う。

### (入寮手続)

- 第 8 条** 入寮を許可された者は、指定の期限までに寮務主事を経て校長に入寮誓約書及び手続き書類を提出しなければならない。
- 2 所定の期限までに前項の手続を完了しないとき、又は虚偽の申告に基づいて入寮の許可を受けたことが判明したときは、校長は、速やかに許可を取り消すものとする。
- 3 入寮の時期は、学年初めとする。ただし、校長が認めた場合には、学年途中に入寮を認めることがある。
- 4 寮生の居室は、寮務主事が指定する。

### (寄宿料)

- 第 9 条** 寄宿料は、所定の日までに納付しなければならない。
- 2 その他寄宿料については、本校学則第 8 章の定めるところによる。

### (光熱水料等の負担)

- 第 10 条** 食費その他生活に必要な光熱水料等は、寮生の負担とする。
- 2 寮生は、前項の光熱水料等について、学校の定める額を所定の日までに校長が指定する者に納付しなければならない。

### (施設保全の義務)

- 第 11 条** 寮生は、居室、共同施設その他学寮の施設を常に正常な状態において保全することに意を用い、次の各号に定めるところに誠実に従わなければならない。
- (1) 居室を、居室以外の目的に使用しないこと。
  - (2) 居室には、無届で寮生以外の者を入室させないこと。
  - (3) 居室には、寮生以外の者を宿泊させないこと。
  - (4) 居室に、寮務主事の許可なくして工作を加えないこと。
  - (5) 共用の施設は、常に良好な状態を保つよう連帯して保全すること。
  - (6) 学寮に、寮務主事の許可なくして掲示等をしないこと。
  - (7) 故意又は過失により施設設備等滅失、き損又は汚染したときは、その原状回復に必要な経費を弁償すること。
  - (8) 防火管理、保健衛生管理、災害防止その他学寮施設の管理運営上の必要からする学校の指示に忠実に従い、積極的に協力すること。

### (共同生活の自主的規律)

- 第 12 条** 寮生は、学寮設置の本旨に従い、学寮における日常生活上の具体的問題を共同して処理し、これを自主的に規律するため、校長の承認を得て、自治組織を結成することができる。

### (退寮手続)

- 第 13 条** 退寮を希望する学生は、事前に保護者等連署のうえ寮務主事を經由して校長に願い出るものと

する。

- 2 退寮するときは、居室その他居室に附属する設備等について校長の指定する教職員の検査を受けなければならない。
- 3 退寮した者には、原則として再入寮を許可しない。ただし、しかるべき理由があり、学寮委員会の議を経て校長が認めた場合は、再入寮を認めることがある。

**(処分)**

**第14条** 寮生が次の各号の一に該当するときは、校長は退寮、又は他の処分を行うことがある。

- (1) 3か月以上寄宿料又は第10条に定める経費の納入を怠ったとき。
- (2) 風紀を乱す行為があったとき。
- (3) 共同生活の秩序を乱す行為があったとき。
- (4) 疾病その他により保健衛生上共同生活に適しないと認めるとき。
- (5) 入寮許可の条件として定める在寮期限を超えることとなるとき。
- (6) 停学を命ぜられたとき。
- (7) その他、学寮の管理運営上支障をきたす行為があったとき。
- (8) 処分基準は、学生の懲戒に関する規程の別表2に定める。

**(寮生以外の者の立入り及び宿泊)**

**第15条** 学寮は、寮生以外の立入り及び宿泊を禁止する。ただし、寮務主事が立入り及び宿泊の必要性を認めた場合は、校長の許可を得てこれを認めることができる。

**(懇談会の開催)**

**第16条** 学寮における日常的、具体的な問題の処理について意見を交換し、教職員及び学生の相互の理解を深めるため、寮務主事は、校長の承認を得て適宜懇談会を開催するものとする。

**(実施規程)**

**第17条** この規程の実施に関し、必要な細則等は別に定める。

**附 則**

- 1 この規程は、昭和42年4月1日から施行する。
- 2 明石工業高等専門学校学寮規則（昭和37年10月10日施行）は、廃止する。

(この間の附則省略)

**附 則**（令和6年3月11日）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。